

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年12月12日 (2013.12.12)

【公表番号】特表2013-509475(P2013-509475A)

【公表日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2012-535826(P2012-535826)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/10 (2006.01)

C 0 8 K 5/57 (2006.01)

C 0 9 D 171/00 (2006.01)

C 0 9 D 133/08 (2006.01)

C 0 9 J 171/00 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/10

C 0 8 K 5/57

C 0 9 D 171/00

C 0 9 D 133/08

C 0 9 J 171/00

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 11/02

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月25日 (2013.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成分として、

(a) 一般式 (I) :

- A_n - R - Si X Y Z (I)

〔式中、

A は 2 価の結合基であり、

R は、場合によりヘテロ原子を含む炭素数 1 ~ 12 の 2 価の炭化水素基であり、

X、Y、Z は、互いに独立して、C₁ ~ C₈ アルキル基、C₁ ~ C₈ アルコキシ基または C₁ ~ C₈ アシルオキシ基であり、少なくとも 1 つの基が C₁ ~ C₈ アルコキシ基または C₁ ~ C₈ アシルオキシ基であり、

n は 0 または 1 である〕

で示される少なくとも 1 つの末端基を有する少なくとも 1 つのポリエーテルおよび / または少なくとも 1 つのポリアクリル酸エステル、および

(b) 少なくとも 1 つの有機スズ化合物、

(c) スズおよびケイ素原子を含まず、それぞれ、カルボキシ基、カルボニル基、ヒドロ

キシ基および本来芳香族環系の一部である窒素原子から選択される少なくとも2つの官能基を有する化合物であって、該成分(c)が少なくとも1つのN-複素環式芳香族化合物または - ヒドロキシカルボン酸を含み、N-複素環式芳香族化合物が8-ヒドロキシキノリン、2-ヒドロキシキノリン、7-ヒドロキシ-3H-インドール、8-ヒドロキシキノキサリン、8-ヒドロキシキナゾリン、8-ヒドロキシシンノリン、4-ヒドロキシフェナントリジン、4-ヒドロシアクリジンおよび1-ヒドロキシフェナジン(それぞれさらなる置換基を有することができる)を含む少なくとも1つの化合物を含む硬化性組成物。

【請求項2】

成分(c)の化合物の総量と成分(b)の化合物の総量のモル比(モル/モル)が1:10~10:1である請求項1に記載の硬化性組成物。

【請求項3】

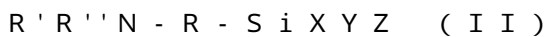
成分(a)が、4000~100000g/モルの分子量 M_n を有する少なくとも1つのポリエーテルを含む請求項1または2に記載の硬化性組成物。

【請求項4】

成分(a)が、ASTM D4671法により測定した、0.07meq/g未満の末端不飽和を有する少なくとも1つのポリエーテルを含む請求項1~3のいずれかに記載の硬化性組成物。

【請求項5】

接着促進剤として、一般式(II)：



〔式中、

R'およびR''は、互いに独立して、水素または $C_1 \sim C_8$ アルキル基であり、

Rは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数1~12の2価の炭化水素基であり、

X、Y、Zは、互いに独立して、 $C_1 \sim C_8$ アルキル基、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ基または $C_1 \sim C_8$ アシルオキシ基であり、少なくとも1つの基が $C_1 \sim C_8$ アルコキシ基または $C_1 \sim C_8$ アシルオキシ基である〕

で示されるシランを含む請求項1~4のいずれかに記載の硬化性組成物。

【請求項6】

100重量部の成分(a)、

0.5~25重量部の接着促進剤、

0.01~10重量部の成分(b)、

0.001~100重量部の成分(c)、および、任意に、

0~125重量部の可塑剤、

0~125重量部のフィラー、

0~25重量部の乾燥剤または水スカベンジャー、

0~10重量部のさらなる添加剤、例えば、顔料、安定化剤、UV吸収剤、抗老化剤、酸化防止剤、レオロジー助剤、希釈剤若しくは反応性希釈剤および/または溶剤、ならびに殺菌剤および難燃剤

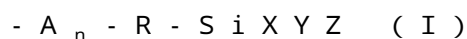
を含む請求項1~5のいずれかに記載の硬化性組成物。

【請求項7】

請求項1~6のいずれかに記載の硬化性組成物の製造方法であって、

少なくとも、

(a)一般式(I)：



〔式中、

Aは2価の結合基であり、

Rは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数1~12の2価の炭化水素基であり、

X、Y、Zは、互いに独立して、 $C_1 \sim C_8$ アルキル基、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ基または $C_1 \sim C_8$ アシルオキシ基であり、少なくとも1つの基が $C_1 \sim C_8$ アルコキシ基または

は $C_1 \sim C_8$ アシルオキシ基であり、
n は 0 または 1 である]

で示される少なくとも 1 つの末端基を有する少なくとも 1 つのポリエーテルおよび / または少なくとも 1 つのポリアクリル酸エステル、および

(b) 少なくとも 1 つの有機スズ化合物、

(c) スズおよびケイ素原子を含まず、それぞれ、カルボキシ基、カルボニル基、ヒドロキシ基および本来芳香族環系の一部である窒素原子から選択される少なくとも 2 つの官能基を有する化合物であって、該成分 (c) が少なくとも 1 つの N - 複素環式芳香族化合物または - ヒドロキシカルボン酸を含み、N - 複素環式芳香族化合物が 8 - ヒドロキシキノリン、2 - ヒドロキシキノリン、7 - ヒドロキシ - 3 H - インドール、8 - ヒドロキシキノキサリン、8 - ヒドロキシキナゾリン、8 - ヒドロキシシンノリン、4 - ヒドロキシフェナントリジン、4 - ヒドロシアクリジンおよび 1 - ヒドロキシフェナジン (それぞれさらなる置換基を有することができる) を含む少なくとも 1 つの化合物

とともに混合する方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の硬化性組成物の、または、請求項 7 に記載の方法により製造された硬化性組成物の、接着剤、封止剤またはコーティング組成物としての使用。